

平成 27 年 7 月 2 日

NPO 法人気候ネットワーク
代表 浅岡 美恵 殿

山口宇部パワー株式会社
代表取締役社長 菅野 等

「西沖の山発電所（仮称）新設計画に対する申し入れ」へのご回答

拝啓 貴法人におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

6 月 24 日に弊社が受信しました貴信「西沖の山発電所（仮称）新設計画に対する申し入れ」に対し、下記によりご回答申し上げます。

敬具

記

- 弊社は、6 月 26 日に宮沢経済産業大臣より、「山口宇部パワー株式会社 西沖の山発電所（仮称）新設計画 計画段階環境配慮書に対する意見について」を受領しました。弊社としましては、弊社への出資会社とも協力して、経済産業大臣意見に即して自主的枠組の構築に努めて参ります。
- 弊社は、発電事業者としても独自に温室効果ガスの排出抑制に努めるべく、本計画においては、利用可能な最新鋭の高効率発電技術である超々臨界圧発電（USC）設備を導入することとします。
- 弊社は、本計画を推進するため、環境大臣意見が勘案された経済産業大臣意見（環境影響評価法第 3 条の 5 および第 3 条の 6）に従い、今後、環境アセス手続を着実かつ適切に進めることとします。

以 上